

# ノーリフト通信 (第6号)

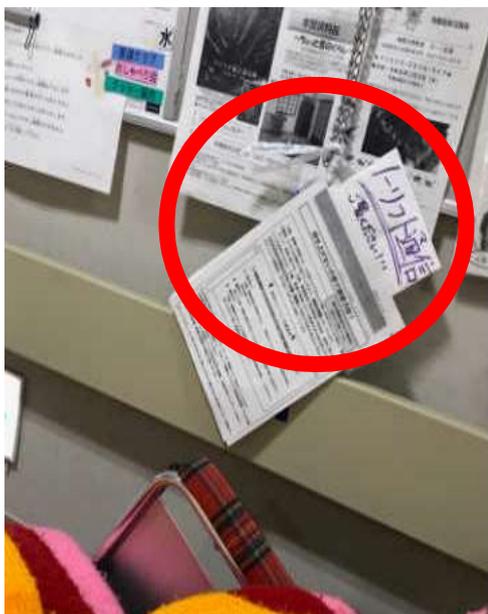
神奈川県立さがみ緑風園 ノーリフト委員会

## ～7H “抱え上げない介護”への道のり～

みなさまこんにちは！

今回は7Hより、今年度の“抱え上げない介護”への取り組みや変化についてお伝えします。

### ① 利用者・職員への“抱え上げない介護”とノーリフト委員会の取り組みの共有



#### ★ホームミーティングにてノーリフト委員会の取り組みを紹介

- 利用者の中での“ノーリフト委員会って何？”を少しでも減らしたら、..
- “なんでボードを使うの？”という利用者の声にもう一度アプローチ！
- 利用者の日頃の移行方法についても不安や痛み等がないか確認を行いました。

#### ★廊下にノーリフト通信を第1回分より設置しました。

- 職員だけでなく、一部の利用者さんへも他ホームの介助方法や様々な福祉機器を紹介出来たら本望です。

### ② 4つのボードの使い分け

★利用者の身体状況や車椅子の種類により、今年度より4つのボードを使い分けています。



#### ① フレックスボード

- ・下肢拘縮が強い利用者
- ・ベッド⇄ティルト・リクライニング式車椅子間の移行機会のある利用者
- ・体交シートを使用し、上下2か所を持ち2人介助で移行
- ・下肢拘縮に対しクッションを使用し、両下肢を固定しながら移行を行っています。



## ② ローラーライドフレキシ

- ・座位が取れない利用者
- ・下肢拘縮が弱い利用者
- ・ベッド⇒ティルト・リクライニング式車椅子間にて  
2人介助で使用中。
- ・つま先までボードに乗せ、移行することが可能。



## ③ スライドボード

- ・座位の保てる利用者
- ・アームレストが外れる車椅子
- ・ボードがタイヤに当たらない車椅子
- ・ベッド⇄車椅子⇄ストレッチャー(入浴時)  
間で使用
- ・職員は前後2人介助
- ・腕の巻込みに注意し、利用者へも手を組んでもらうなどの協力をしてもらう事がポイント。



## ④ スライドボード(小)

- ・③とは使用条件はほぼ同じ
- ・車椅子のタイヤが大きく、幅のあるスライドボード  
では座面に段差が出来てしまう場合に使用。
- ・ボードの幅が狭いことにより、  
段差の原因となるタイヤを避けて  
ボードを設置する事が出来ます。

## ～まとめ～

7Hでは、様々なボードの導入・試行を経て、職員間で移行時の危険に感じる部分や利用者からの意見をもとに、意見交換を行いながら移行方法の検討を行うことが出来ました。

特に入浴場面では、今まで多くあった「抱え上げる介護」を行っていた場面に対し、職員の意識も変わり安全な移行を意識・工夫するようになってきたとの声がありました。

来年度以降も、利用者への理解促進も大切にしながら「抱え上げない介護」に努めていきます！